

会議の概要

令和5年度 第8回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和6年1月11日（木）18:30～20:30
場 所：改善センター1，2階 多目的ホール他

（進行 指導主事 渡邊 博樹）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。それでは、これより令和5年度第8回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今年度第8回になりますCS委員会にお集まりいただきありがとうございます。今回の会議は、一つは2月17日開催予定の第5回おおたまコミュニティ広場の打合せ、もう一つは次年度CS委員会の計画を検討するための熟議という内容になります。コロナ禍の影響を受けながらも第5回となりますおおたまコミュニティ広場については、毎年少しずつ工夫・改善を加えながら進めてきたところです。そして、今回も充実が期待されているところです。CS委員会の主催行事という形でもありますので、委員の皆さまには積極的なご協力をお願いしたいと思っています。

また、次年度の方向性を検討する熟議につきましても委員の皆さんのそれぞれのお考えや思いがあろうかと思っておりますので、それをざっくばらんに話していただきながら、最終的には協議体としての大玉らしい姿を目指していければいいと考えているところです。今日も限られた時間設定にはなりますが、よろしくお願いいたします。



3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会会長 矢吹 吉信）

改めまして、新年明けましておめでとうございます。今年も皆さんよろしくお願いいたします。

本日は、お寒い中、お忙しい中お集まりいただき本当にありがとうございます。新年早々いろんなことがありすぎて、今こうして当たり前のことをやっているのは幸せなんだなと思いつつ、自分ができることを何か見つけながら日々生活をしているところです。多分子どもたちもテレビの映像等を見て、大分精神的に感じている部分もあるのではないかなと思いつつ、今日熟議の中で校長先生と話す機会があった時にちょっときいてみたいと思っています。本当に新年早々テレビで見ている子どもたちがいっぱいいると思いますので、その辺を心配をしています。

さて、今日は一番楽しみにしています2月17日のコミュニティ広場の最終打合せとなっております

ます。分からない点や不安な点等あればぜひ声をあげていただいて、一番良いものにしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。次年度の委員会の活動についてのお話もありますので、この辺もよろしくお願いいたしますと思います。時間は限られておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。



4 諸連絡

○ 本日の日程・内容について

＜本日の協議題＞

- (1) 第5回おおたまコミュニティ広場(第15回職労フォーラム)最終打合せ
- (2) 令和6年度CS委員会活動についての説明
- (3) コミュニティ・スクール委員会について各園・各校ごとに熟議
 - ① コミュニティ・スクール委員会の運営についての熟議
 - ② 各校・各園からの報告
 - ③ 全体共有

5 協議

(座長 CS会長 矢吹 吉信)

(座長) それでは協議を進めさせていただきます。まずは第5回おおたまコミュニティ広場最終打ち合わせということで、当日の運営の流れ、役割分担、進行表との説明を事務局よりお願いします。

(1) 第5回おおたまコミュニティ広場(第15回職労フォーラム)最終打合せ

① コミュニティ広場当日の運営の流れ、役割分担、進行表等の説明 (指導主事 渡邊博樹)

○ 「7 内容・方法」第1部

- ・大山小5年「もっと知ろう！大玉村のひみつ調査隊」
- ・玉井小6年「ふるさとの過去・現在・未来とつながる」
- ・大玉中1, 2年「貢献のカタチ ～ 大玉村から教えてもらったこと、そして、大玉村のためにできること～」

○ 「9 会の進行 (4) 閉会式」

- ・吉田副会長 → 館下副会長

○ 「10 係分担」

- ・受付の係を4人から6人に増やした。

○ 「最終確認」

- ・CS委員の集合時刻は7時40分とする。(最終の打合せをする)

○他については前回の委員会で説明した通り＜資料参照＞

② 質疑応答

(座長) ありがとうございます。ここまでにについて事務局から説明がございました。確認したいこと、共通理解を図りたいこと等皆さんから何かございましたらお願いします。係分担もされていますが、今回初めての方もいらっしゃると思いますので、どういうことをすればいいか等のご質問はありませんか。

(CS委員) ～ 特にない様子 ～

(渡邊指導主事) 続きまして、11ページから説明します。

○ 会場図について

○ 「進行」

- 開会式・閉会式：館下副会長
- 第1部：浅和副会長
 - ・ 大山小 → 玉井小 → 大玉中 の順で発表する。
- 第2部：吉田副会長
 - ・ 情報モラル診断等の説明 → グループ協議（進行：CS委員）
 - ・ ワールドカフェ形式で進める…移動①②の際、誰がどの班まで動くのか指定しておく。
 - ・ 学校別の付箋の色分けはしない。
 - ・ 司会者として … 班の参加者に1回は発言してもらうようにする。
 - ・ 時間の内訳 … 50分間の話し合い（初めの班）→ 移動①（前半）→ 移動②（後半）
→ 初めの班で話し合い

（座長）ここまでで何かありますか。2月16日（金）の準備についてはどのようになりますか。

（渡邊指導主事）これは教育委員会で行います。

（座長）当日の私たちの集合時刻は7時40分ということになります。

（後藤委員）確認なのですが、フリートークの後に移動して前半の説明、そして、その後移動して後半の説明ということですが、どのように移動するのか教えてください。

（渡邊指導主事）同じ階の他の班に散らばるイメージです。メンバーが同じ班に行ってもあまり共有されないので、なるべくバラバラになるようにします。班の数もあるのでうまくいくかは分かりませんが、そのようにしたいと思います。

（後藤委員）その辺も司会の方で指示すればいいということでしょうか。

（渡邊指導主事）誰がどの班に行くかは、事前に事務局で決めておきますので大丈夫です。（去年と同じ感じで）



（座長）その辺についても当日の朝、打合せの時に共有できるようにお願いします。

（狩野委員）私は今年が初めてでよく分からないのですが、第2部のフリートークで移動して、前半説明と後半説明となっているのですが、これはどういう意味なのでしょうか。

（渡邊指導主事）11ページをご覧ください。まずは一班が8人になるよう考えています。例えば1番のグループの場合、8人いるので班で話し合った後に

- ①（前半）No.1～4の人が残って他の班から来た人に説明する。No.5～8の人は他の班に話を聞きに行く。
- ②（後半）No.5～8の人が残って説明し、No.1～4の人は他の班に話を聞きに行く。

ということです。互いの班で話し合った内容を聞き合うということです。

(狩野委員) 前に大山小で同じようなことをやったのですが、分かりにくくて十分に意見の共有ができませんでした。5分間でやるのは忙しくて難しいのではないのでしょうか。

(渡邊指導主事) 確かにそういうこともあると思います。でも、そのようにしないと、最後の発表で代表の2班ではなくて、4班ぐらいから聞かなくてはならなくなってしまい時間も確保できず、そういう理由でここで他の多くの班の話の内容を共有できたらなということ考えています。

(狩野委員) ありがとうございます。

(座長) その他皆さんから何かありますか。この辺がとても難しい部分でもあるのですが、これを進めたいということですのでよろしくお願ひしたいと思います
続きまして、(2)の令和6年度コミュニティ・スクール委員会活動についての説明に移ります。

(2) 令和6年度CS委員会活動についての説明 (指導主事 渡邊 博樹)

*資料に基づき説明

(渡邊指導主事) 要項の2ページの「令和6年度の重点(基本方針)」をご覧ください。

太字になっている部分を付け加えました。

○ オープンスクール(おおたま学園主催の授業研究会)に、CS委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。熟議においては可能な限り児童・生徒も参加し、子どもたちの意見も取り入れたり、保護者を参加させたりするなど、子ども理解・学校理解・家庭理解のより一層の深まりとともに、子ども、学校、家庭、地域の協議の活性化をを目指す。

ぜひ、保護者の方に協議会に参加いただくよう促していただきたいと思います。ご意見があればお願いします。

(座長) こういう場に参加して意見を述べたいという方もいると聞いておりますので、保護者の参加はいいのかなど…。そういう方に入ってもらって、よりよいものをつくっていきたく思いますがいかがですか。

(渡邊指導主事) 子どもの意見は大分入ってくるようになったのですが、保護者の部分が足りないなと思います。保護者の事情もありますので、そのことも踏まえながら話を進めると良い話し合いになるのではないかと思います。

(座長) CSの理解についてですが、(始まって)もう10年経っているのですが、分かっている方は分かっているのですが、全く分かっていない方もいるというのが現実です。だから、いろんな情報を発信して、保護者や先生方にもCSはこういう活動をしていて素晴らしいということを早く理解してもらうためにも、いろんな活動をもっとやっていければいいと思います。

重点方針についてはよろしいでしょうか。あとは私たちが一生懸命に取り組んで、認知されればいいと考えます。

(渡邊指導主事) 3ページをご覧ください。役員会については、いつ行うのかをご検討いただきたいと思います。オープンスクールは、教育事務所との今後のやりとりがあるので確定ではありません。

- ・ 第3回CS委員会は8月27日(火)としました。
- ・ 幼稚園のフェスタは6月に実施しますので、5月のCS委員会で検討します。
- ・ 小・中のオータム・フェスタの各活動は分散開催ですが、9月下旬から10月上旬の間に行う予定になっています。正確な日時については決まっていませんので、今後詰めていくようになります。

ます。

(座 長) まだ未確定なところもございますがご理解いただきたいと思います。オータム・フェスタについては、平日の分散日開催ということで、幼稚園は6月に、その他は秋に行く予定です。文化祭や新人戦があったり等、スケジュールが非常に混み合っているということです。時期がきましたなら、いずれ日程も確定すると思いますので、よろしくをお願いします。

次は、「(3) コミュニティ・スクール委員会について各園・各校ごとの熟議」ということとなりますのでご移動をお願いします。

～ 移 動 ～

(3) コミュニティ・スクール委員会について各園・各校ごとに熟議

① コミュニティ・スクール委員会の運営について熟議

(今年度の活動を振り返って / 次年度の活動を見据えて)

※ 各園・各校ごとに熟議を進める。



～ 移 動 ～

② 各校・各園からの報告

(座 長) それでは各校・園から熟議内容の説明をお願いします。一通り報告を受けてから、「確認したいことや共通理解を図りたいこと」ということで意見交換をしたいと思います。

<大玉中学校> (校長 久保寺 徹)

- 大玉中学校では、先程の令和6年度の重点基本方針の太文字の部分について具体的な話をしました。
- オープンスクールには保護者だけでなく、地域の人たちに来てもらうのも面白いという話が出ました。CSについて分かってもらうためには、年度当初に説明をちょっと聞いただけでは不十分であり、オープンスクール等で学校に来てもらい、話し合いに参加していただく機会をつくることによってCSに対する認知は広がっていくのではないかとということです。
例えば、現在の授業研究の後の分科会を省いて、授業を見た後に体育館に集まってみんなで話し合う形に変えてしまうことも考えられます。また、教室で授業を行うとスペースの関係があって人がたくさん入れないので、大きな部屋に移って授業をすることも必要ですし、何より保護者や地域の人には見に来てもらって満足して帰ってもらうことが大切ですので…。その辺のオープンスクールのあり方、運営の仕方等を検討することも考えてもいいのかなという意見が出ました。
- コミュニティ広場の広報はどんなふうに行っているのか教えてほしいということです。

< 大山小学校 > (校長 齋藤 和久)

○ 大山小学校の分科会では、まず、「CS委員会の認知」のことについて話し合いました。教職員も分かっているようで分かっていない部分があり、いつもおおたま学園の会議の時に教育委員会から話があるわけですが、CS委員さんにおいでいただいて、CSの立場からお話いただいた方が分かりやすかったり、伝わりやすかったりするのではないかという意見があつて、先生方にもこのCSが学校の味方であることを少しでも分かってもらうといいのではないかという話がありました。

○ 次にCSの役割について話し合いました。CS委員さんは、常日頃から「何かあれば協力したい」とおっしゃってくださっています。そこを「何かあれば」ではなくて「あるものにどんどん関わっていく」という形にしていってはどうかというご意見をいただきました。来賓で呼ばれるのではなくて、その行事にスタッフとして関わっていくのつもりで行く。例えば、運動会の運営や学習発表会の受付等にCS委員が入っていけば、子どもたちの様子も間近に見ることができて、1～2月に行われる学校関係者評価にもすごく生かすことができるのではないかと。



来賓ではなくてボランティアとして関わることが、学校のためにも先生方の負担軽減とか学校評価にもつながっていき、いいのではないかという話がありました。

○ CS委員会では、2月の最後の会議で来年度の運営ビジョンについて話して承認をいただくのですが、私たち学校は毎年反省をして、次はこれをどういうふうにグレードアップするかを求められています。それが忙しさを加速させることに繋がっているのではないかというふうにも思っています。CS委員会は「承認する」という大きな役割があるのですが、「学校でそこまでやらなくてもいいのでは?」、「ゆとりをもっていい」、「行事を減らしてもいい」等のブレーキをかけるような役割もどうなんだろうかと話もできました。

何か新しいことをやろうとすると、何かを削ったり縮小したりという作業が必要になってきます。学校の行事に顔を出す機会を増やししながら、一緒に学校のゆとりづくりに関わっていくことができれば、CS委員会の意義も大きくなっていくのではないかという意見を頂戴しました。

< 玉井小学校 > (校長 佐藤則之)

○ まず、学校運営協議会への保護者の参加について話し合いました。オープンスクールの授業は、先生方が指導を受ける機会でもあります。保護者の方々に普段の授業参観とは違った授業を見てもらったり、知ってもらったりするのも意義あることなので、まずはやってみたらどうだろうという話になりました。

ただ、今年のオープンスクールをふり返ってみますと、幼・小・中の先生方が一堂に会する機会であり、実際のところかなりの人数になりますので、実際に授業を見てもらうと言っても現実的には厳しいと感じます。授業研究を増やすとなると、先生方はそのために授業案をつくり準備する必要もでてきます。「大玉にお世話になっている間に1回は自分の授業を公開する」ということになっているのですが、そうすると2年に1回とか毎年公開しなくてはならなくなるので、今度は先生方の負担が大変になるのではないかというご意見をいただきました。

(いろんな面を考えても) 授業を参観してもらうのはかなり難しいですので、夕方から学校運営協議会に参加してもらうのがいいのではないかと思います。該当の学校の保護者(ex.本部役員、学年委員…)にするとか、または公募するとかいろんなやり方があるので、どのくらい集まってくれただくのかをこれから検討していく必要があると思います。ただ、分科会を見てもらうのもい

いのではないかという意見もありました。よい授業づくりのためにはクリアしなくてはならないハードルがたくさんあるんだとということを知ってもらうのもいいという意見です。ただ、まずはやってみましょうということです。

- CS委員会の運営面について話し合ったことでは、熟議においてワールドカフェ形式で共有するという流れをとっているのですが、やはり時間的なゆとりがないとなかなか難しいのではないかという意見が出されました。

先程今回のコミュニティ広場について事務局から提案いただいたのですが、この30分間という時間の中で5分間刻みで交代しながら進めると言っても、(せっかく子どもたちが参加しているのに) 子どもたちがどんなふうに考えているのかについてじっくりと話せないのではないかと、深められないのではないかと…。例えば、今回は半分の人が移動し、半分の人が残って説明をするようにして、ゆとりのある運営をするのも一つの方法ではないかという意見が出ました。CS委員会でのやり方は、時間的なゆとりであったり、子どもではなく大人だけの集まりの時に用いる方式なのかも知れません。そういったところをこれから検討していく必要があるのかなと思いました。

熟議のやり方についても年々グレードアップするという考え方は大事だと思います。ただ、CS委員は(2年ごとに)メンバーが代わります。「ゼロから」という方も入ってくる時に、レベルが上がったところにポーンと入るのはなかなか厳しいと思われれます。そういったことについても徐々に、状況に合わせてやっていくことも大事なのかなという話になりました。

< 大山幼稚園 > (副園長 二瓶 博子)

- 大山幼稚園は玉井幼稚園と一緒に話し合いました。まず、今年度の活動をふり返ってということで話し合ったのですが、幼稚園担当の方同士で熟議ができたことがとてもよかったという話になりました。こういう貴重な場で生の声が聞けたこと、そしていろいろな立場の方の意見を聞けたことがとてもよかったという感想もありました。大玉村という小さな村の強みである「まとまり」があって、幼稚園から小学校へのつながりも感じられてとてもよかったという話もありました。ただ、先生方の負担になっていないかということで、その辺のバランスがとればもっといいということ、やるものとやらないもの、なくすものと残すものをはっきりさせていけばいいのではないかという話になりました。

- コミュニティ広場について

「どうしたら保護者はもっと来てくれるんだろう」ということで話し合いました。現在のCSはとても良い取組をしているのですが、保護者を巻き込んだ取組はできないだろうかということで話を進めました。

やはり、「楽しいことをやっていれば、来てくれるのではないか」という話になりました。例えば、コミュニティ広場の小・中学生の発表のところを工夫できないかと考えました。1年間を通して、子どもたちが夢を実現していく取組み、その過程を発表できるといいなど…。

実践に当たっては、プロジェクトチームを作って取り組めば保護者を巻き込むことができるのではないかと、また、地域の企業や地元出身の大学生とコラボしたり、協力を得たりすることも有効ではないかというアイデアも出されました。いろんな人を巻き込んで、一つのことをやって、その取組をコミュニティ広場で発表する…、保護者も1年間を通してワクワクしながらCS活動を見守っていけるような取組があると楽しい等の話になりました。後藤先生補足をお願いします。

< 玉井幼稚園 > (副園長 後藤 弥和子)

- とにかく保護者が参加しやすく、分かりやすいものがいいのかなと思いました。1年間を通して、子どもの夢を実現させるような取組ができると最高に素敵だなと…。友だちもワクワクするし、私たちもワクワクして毎回ここに来るのがもっと楽しくなるかなと思いましたので、ぜひ来年につなげていければいいという話になりました。

- 先程大学生とのコラボという話がありましたが、福大生が来ていろんな取組をすることによっ

て、子どもたちは、将来こんな素敵なお兄さん、お姉さんになれるといいなと思うのではないのでしょうか。福大生だけではなくて、他の大学や高校に通っている地元の学生と子どもたちや先生方とのつながりができたなら、素敵なことになるんじゃないかなという夢を語り合いました。

(座長) ありがとうございます。全体共有ということで、各園・各校から素晴らしい内容の報告がありました。これについて皆さんから何かございませんか。

非常に夢のある話をいただきました。今度の2月のコミュニティ広場には間に合いませんが、来年度1年間を通した取組やプロジェクト等もいいなあと感じました。

CSは大変素晴らしい制度なのですが、逆に先生方の負担になっているんじゃないかという心配もありますし、これからどうしていくのが一番いいのかが課題だとも思っています。こういう立場(CS委員)にいる時に何かやれないか、例えば、運動会によべれた時は来賓で座っていないで、玉入れのかごを持つとか、学習発表会でもできることをしたいなと思っています。そうすれば、いい学校関係者評価ができるし、地域や先生方にCSはいいなと思ってもらえるのではないかと…。シンプルですがすぐできそうではないかと思っています。

新年度に向けて何かございましたら…。

(狩野) 学校運営協議会の折の熟議の課題についてですが、私が最初に参加した時、「何を話したらいいのか全く分からない」、「考えが出ない」ということが何回かありました。できれば、事前に課題の中身が分かれば考えることができると思います。学校や事務局は大変忙しいとは思いますが、どうぞよろしくをお願いします。

(座長) 事前に分かることに関しては、できるだけ示させていただくようにしたいと思います。事務局から何かありますか。

(渡邊指導主事) コミュニティ広場第2部のテーマについては、各校の情報モラル診断の結果(データ)等を準備しておいた方がいいと思っています。子どもたちの実態を理解し、それをどうしていくかということ話し合えるように資料を用意します。

次に、要項15ページにあるフリートークが終わった後の動き(説明する人が残って、他の人が他の班に移動する…2回繰り返す)が忙しすぎるとの指摘があり、私もその通りだと思いました。説明する人は2名くらいおいて、その他の人は他の班を回ってその意見を聞いて、戻って終了というふうにしたいと…。また、説明という負担が大きいので、班で話し合った内容(付箋の記述内容)を話す程度にしたいと思います。時間的な余裕もできるので質疑や意見等の時間もとれると考えます。

(座長) ゆとりがありますね。みなさん、いかがでしょうか。

(CS委員) ~ 賛同 ~

(渡邊指導主事) 修正をして校長会で検討の上、後日再提示したいと思います。

もう1点ですが、2ページに戻っていただきたいのですが、私の説明不足で申し訳なかったのですが、オープンスクールの保護者の参加については授業までは考えていませんでした。よく読んでいただくと分かるのですが、「熟議においては可能な限り子どもたちの意見も取り入れたり、保護者を参加させたりするなど・・・」と記しています。授業研究と分科会の参加は保護者には難しいと思いますし、仕事の関係もあります。16時半頃から行う熟議にだけ参加してもらうのがベストなのかなと考えています。その点を確認させていただきます。

(座長) 16時半頃から多くの保護者に集まっていたということですね。やり方もいろいろ

考えなければならないと思います。急に来て、難しいテーマで話し合うのは逆効果の可能性があるので、事前におたより等でテーマをお知らせして準備できるよう配慮する必要があります。それでは、これで協議を終了します。ご協力ありがとうございました。

6 その他

- (1) 各校・園主催の学校関係者評価について
 - 今後各校・各園から学校関係者評価委員会の案内が出される。
大山幼…1／30（火）午前 玉井幼…2／1（木） 大山小…1／30（火）
玉井小…2／1（木） 大玉中…2／6（月）
 - 次回のCS委員会で、各校・各園の評価結果についてリーダー（委員長）に説明いただく。
- (2) 学校関係者評価研修会
日時：1月25日（木）18：30～19：30 改善センター
講話：「学校がよくなる評価 悪くなる評価」
講師：株式会社ミンナノチカラ代表取締役 大堀 満 氏
- (3) アンケート「今年度の成果と課題」の提出について
 - 提出は2月2日（金）までにいずれかの方法でお願いしたい。（直接の提出、QRコード等でフォームに入力、郵送、電子メール、FAX等可）
- (4) 次回（最終）の予定 2月26日（月）18：30～
 - 各校園の学校関係者評価に関する報告
 - 令和6年度各校園の教育課程（案）の説明及び承認
 - 令和6年度CS委員会計画
 - 令和5年度地域学校協働活動事業実施状況等について
 - その他

7 閉会のことば

（おおたま学園CS委員会副会長 館下 愛理）

今日は盛りだくさんの内容でお疲れさまでした。外は大変冷えておりますので、お気をつけてお帰りください。これで令和5年度第8回おおたま学園CS委員会を終わります。ありがとうございました。

